

国立環境研究所・日本自動車工業会共同 大気環境・健康影響コンファレンス

ー都市大気汚染(PM_{2.5}/Ox)対策と国環研・自工会の取組みー

日時；2015年6月11日(木) 13:00-18:00 (受付12:30開始)

場所；ティアラこうとう 小ホール

〒135-0002 東京都江東区住吉 2-28-36

<http://www.kcf.or.jp/tiara/map.html>

- 13:00 開会 日本自動車研究所 伊藤晃佳
- 13:05 国立環境研究所と日本自動車工業会との共同研究の経緯と成果について
国立環境研究所 新田裕史
- 13:20 Key-note 講演1
PM_{2.5}の現状と課題
アジア大気汚染研究センター／埼玉県環境科学国際センター 坂本和彦
- 13:50 国環研/自工会における研究取組1 座長：日本自動車工業会 神岡隆一郎
- ①大気動態や発生源に関する研究
- ・大気中 PM_{2.5}に係るガソリン蒸発ガスの成分分析
日本自動車工業会 岡山紳一郎
 - ・燃焼発生源由来の一次粒子と二次粒子に関する最新課題
国立環境研究所 藤谷雄二
- ②大気質予測モデルに関する研究
- ・PM_{2.5}大気環境濃度のシミュレーション
日本自動車研究所 森川多津子
 - ・大気モデルによる PM_{2.5}の再現性評価と計算精度向上に向けた取り組み
国立環境研究所 森野悠
- 15:20 休憩
- 15:30 Key-note 講演2
都市大気汚染物質の最近の疫学知見と環境基準設定への課題
慶応義塾大学 武林亨
- 16:00 国環研/自工会における研究取組2 座長：国立環境研究所 平野靖史郎
- ③大気汚染の健康影響に関する研究
- ・自動車排気の健康影響についてのこれまでの取組
日本自動車研究所 伊藤剛
 - ・ディーゼル排気由来一次粒子・二次粒子の毒性影響評価
国立環境研究所 古山昭子

16:45 現状の取り組みと研究の方向性紹介

環境省、自治体、産業界の方に現状の取り組みと今後の研究に期待することをお話しいただき、自工会、国環研から今後の方向性について紹介する。

座長：国立環境研究所 大原利眞

(発表者)

- ・ 環境省
- ・ 川崎市
- ・ 日本鉄鋼連盟
- ・ 日本化学工業協会
- ・ 日本自動車工業会
- ・ 国立環境研究所

17:55 閉会挨拶

日本自動車工業会 斉藤二郎

申込先 国立環境研究所

メールアドレス jama_nies_conf_2015@nies.go.jp

所属、氏名、メールアドレスをご明記の上、お申込み下さい。

申込期限 5月20日 ※定員（120名）になり次第締め切らせていただきます。

- ・ 写真撮影、録音はご遠慮願います。
- ・ 会場内の飲食は禁止です。（ロビーは可）
- ・ 喫煙は指定の場所で行います。